

報道発表

令和2年1月29日  
名古屋税関  
四日市税関支署

## 令和元年12月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「プラスチック」などは増加したものの、「自動車」、「石油製品」などが減少したことから、伸率（対前年同月比）11.9%の減少となった。また、輸入額は「液化天然ガス」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「有機化合物」などが減少したことから、同3.6%の減少となった。

これにより差引額は、739億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	723億円	▲11.9%	1,462億円	▲3.6%	▲739億円	+6.1%
	2カ月ぶりの減少		6カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) プラスチック	55億円	+20.6%	輸入	増加品目	(1) 液化天然ガス	307億円	+9.9%
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	36億円	+30.9%			(2) 非鉄金属鉱	14億円	23倍
		(3) 自動車の部分品	63億円	+13.1%			(3) 石炭	19億円	+84.2%
	減少品目	(1) 自動車	11億円	▲87.9%		減少品目	(1) 原油及び粗油	791億円	▲5.3%
		(2) 石油製品	74億円	▲21.1%			(2) 有機化合物	18億円	▲37.5%
		(3) ゴム製品	19億円	▲29.4%			(3) 石油製品	64億円	▲11.3%
	地域別動向					地域別動向		増加：中東欧・ロシア等 減少：アジア、北米	

（参考）ドルレートは、108.95円（前年同月比3.7%、4.17円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。